

製品名: BCL-10 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80502**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	BCL-10
別名	CLAP; Me10; CIPER; c-E10; CARMEN
遺伝子 ID	8915.0
SwissProt ID	O95999
免疫原	大腸菌で発現したヒト BCL-10 の精製された組み換え断片。

背景

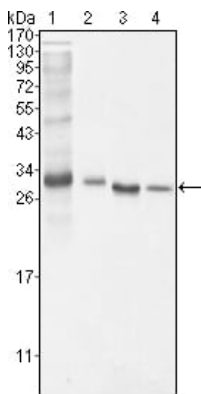
Bcl-10 (B 細胞 CLL/リンパ腫 10) は、CLAP、Me10、CIPER、c-E10、CARMEN と呼ばれます。Entrez Protein NP_003912。カスパーゼリクルートメントドメイン (CARD) を含むタンパク質です。アポトーシスと NF- κ B の活性化に重要な役割を果たします。

研究では、CARD9、10、11、14などの他のCARDドメイン含有タンパク質と相互作用することが示唆されており、これらはNF- κ Bシグナル伝達の上流調節因子として機能すると考えられています。Bcl-10は、MALTリンパ腫で転座することが知られている別の遺伝子によってコードされているMALT1と複合体を形成することが分かっています。MALT1とBcl-10はNF- κ Bの活性化において相乗効果を発揮すると考えられており、どちらかの調節不全が悪性腫瘍につながる同じ病因プロセスに寄与する可能性があります。

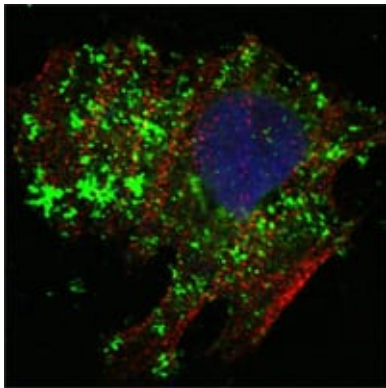
研究分野

アポトーシス

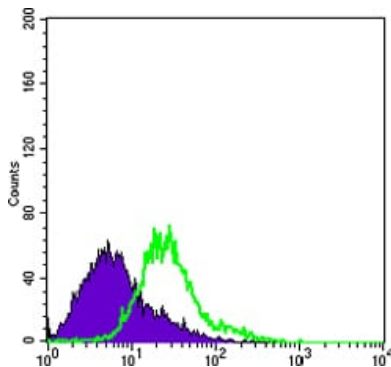
画像データ



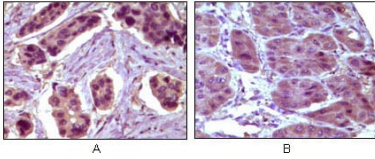
NIH/3T3 (1)、Hela (2)、MCF-7 (3)、Jurkat (4) 細胞溶解物に対するBCL10 マウス mAbを使用したウエスタンブロット分析。



BCL10 マウス mAb (緑) を用いたHela細胞の共焦点免疫蛍光染色。赤：アクチンフィラメントはAlexa Fluor-555 ファロイジンで標識されている。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



BCL10 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用したHela細胞のフローサイトメトリー分析。



パラフィン包埋ヒト乳癌 (A) および肝臓癌 (B) の免疫組織化学分析。DAB 染色による BCL10 マウス mAb を使用して細胞質の局在を示しています。